

春日 隆司 議員

年度中、なぜ「住まい補助」の支援が打切られたのか

町長 財政状況から補助を続けることは困難である



基金（貯金）取りくずし

質問 約2,800万円の基金取りくずし計画が、現在約1億円取りくずされている。

町長 今後、除排雪費や補助金など取りくずしが増加する要素がある。

副町長 基金取りくずし額（約1億円）は、大きく変動しないと思う。

再質問 基金取りくずしが増え財政はさらに厳しくなる。取りくずし計画を尊重することを、執行側、議会、町民の方も共有しなければ、将来世代への負担が増していく。

住まい補助の支援打ち切り

質問 町はこれまで20年来、町民要望に応え、年度途中でも補正予算を組んできたが、町民への補助が途中で打ち切られたのはなぜか。

町長 財政状況から住まい補助を続けることは困難である。補助金の見直しに着手した。

再質問 お金がないのとこのことで、町民へ補助するとの約束が守られていない。条例改正などの措置が必要ではないか。例年どおり補助を期待していた町民には、民法上期待権が認められる。

副町長 条例の目的が変わったわけではない。予算の範囲内で執行していく。今年度は上限を設定した。

再質問 今年の住まい補助の支出は不平等である。町民生活の足元に目を向ける時にきている。財政が厳しい中にあるても前を向いて持続していく必要がある。

吉本興業との連携

質問 吉本芸人の反社会的会合での営業問題は政府の見解なども出ているが町長

の公式見解は。

町長 正すところは正し、健全化を図っていただきたい。

再質問 吉本映画製作は撮影も完了しているが、契約などを交わしているか。吉本事業の目的とこれまでの経費総額は。

町長 町の魅力を映画を通じて発信し観光振興や特産品振興などにつなげていくことが目的。インターネット上での資金調達が基本。不足分は町と吉本が協議の上負担をする。

町は現地口ケの宿泊や移動費、機材現地調達費などを負担。契約などはない。これまで約995万円の支出を予定。

再質問 口約束だけの公金支出は可能か。

副町長 負担額は協議して決め、請求をいただいて負

担をしていく。

移住政策の課題と展望

質問 この3年間、46人が移住されたが何人流出したか。移住政策に費やしたお金は。今後の課題と展望は。

町長 流出者は6世帯11人。経費総額は1億5,077万円。さらなる取組が必要。比較優位を前面に様々な切り口から共感を得た方々を対象にアプローチをしていく。

再質問 移住政策の基本的な考え方は。

町長 発信力を高めていくことが非常に大事である。メディアや様々なプロモーションの機会に取り組んでいきたい。